

# 優秀健康経営事業所

— 平成27・28年度知事顕彰の取組紹介 —

## 優秀健康経営事業所とは

「生涯健康県おおいた21推進協力事業所」

普及推進事業(健康経営推進部門) ..... 2

### ● 従業員50人未満の事業所の取組

大陽機材株式会社(大分市、商社) ..... 3

社会福祉法人霊山会植田保育園(大分市、保育所) ..... 4

タナベ環境工学株式会社(大分市、環境調査・地質調査・建設コンサルタント) ..... 5

明大工業株式会社(別府市、建設業) ..... 6

### ● 従業員50人以上の事業所の取組

九州ジージーシー株式会社(竹田市、食品製造業) ..... 7

旭タカロン株式会社(宇佐市、製造業) ..... 8

社会福祉法人大喜福社会喜楽苑(日田市、社会福祉施設) ..... 9

株式会社ジェイデバイス(杵築地区)(杵築市、製造業) ..... 10

株式会社豊和銀行(大分市、銀行業) ..... 11

# 優秀健康経営事業所とは

健康経営事業所と認定された事業所のうち、県下事業所に広く模範となり、今後も継続した取組が期待できる事業所に対し、「**優秀健康経営事業所**」として、その取組を県知事より顕彰しています。(顕彰は、年5事業所以内です)  
 当冊子は、優秀健康経営事業所の取組をご紹介します。



## 大分県健康経営事業所

「生涯健康県おおいた21推進協力事業所」  
 普及推進事業(健康経営推進部門)

大分県では、従業員の健康支援が会社の成長につながるという経営方針＝「健康経営事業所」の普及を目指しています。そこで、大分県内のすべての事業所を対象に、全国健康保険協会大分支部(協会けんぽ)と協力し、「健康経営事業所」の認定制度を行っています。

### 優秀健康経営事業所 【大分県知事顕彰】

健康経営事業所  
 認定 (1年間)

審査

実績報告書を提出  
 (登録申請した機関へ)

めざせ  
 認定!!



次に  
 実践!!



まずは  
 登録!!



#### 事業所での取り組み

- 健診受診勧奨
- 有所見者への対応
- 健康状態の把握
- 受動喫煙防止対策
- 健康情報の提供 等

#### 県のサポート

- 定期的な健康情報
- 企業対抗運動イベント
- 健康みえる化促進事業 等

活用

#### 事業所の登録

協会けんぽに  
 登録申請

所在地を管轄する  
 保健所へ登録申請

自動登録(随時)

一社一健康宣言

左記以外

協会けんぽ加入事業所

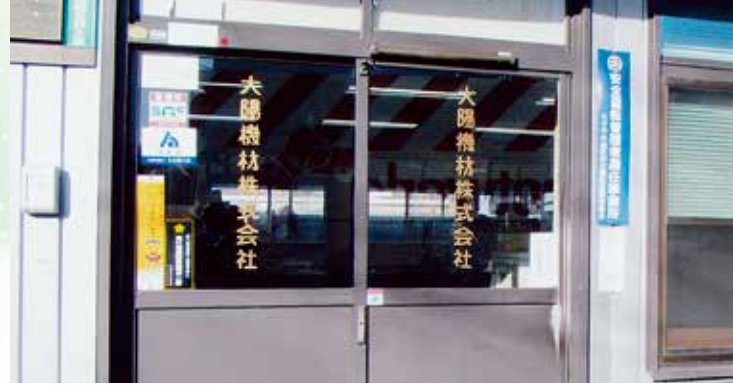
協会けんぽ以外の事業所

従業員50人未満の事業所の取組

# 大陽機材株式会社

大分市

平成27年度受賞



|      |                            |
|------|----------------------------|
| 設立   | 昭和49年6月                    |
| 業種   | 商社                         |
| 従業員数 | 19人（男性：15人、女性：4人）          |
| 所在地  | 〒870-0136<br>大分市山津町2丁目4-25 |

## 【事業内容】

大陽機材株式会社は、土木・建設資材販売、土木工事等を主業務としています。本社は大分市内にあり、約20名の社員で、社長が中心となり「身体が資本！」をモットーに事業所ぐるみで健康づくりを続けています！



## 代表取締役会長 高橋 敦

社員は会社の宝です。社員が働いているお陰で会社が成り立つのですから、経営者は社員にいかに元気に働いてもらうかを考え、体制を整える責任があります。私自身、現在77歳ですが、父が高校3年生の時に急逝し、医師から『たばこの吸い

過ぎと健康管理ができていなかったのでは』と言われたことをきっかけに、タバコを吸わず、自らの健康管理も行っています。その経験から、特に禁煙の推進や健康管理に力をいれています。



## 【取組①】社員が健診を受けやすい環境づくり！

がん検診の自己負担分は会社が負担し、検診受診時間は仕事扱いとすることで、検診の受診を促しています。また、時間が限られるなかでも社員全員が確実に健診を受けるように、健診機関へ依頼し健診車を会社へ呼び、健診を実施しています。



朝礼で健診の伝達



## 【取組②】社員が受動喫煙をしないように。禁煙対策の徹底

建物内禁煙を徹底しており、事業所の入口には「建物内禁煙」の掲示を貼ることで、来訪者の禁煙も徹底しています。社員の禁煙についても社長自らが推進しています。



会社玄関に「社内禁煙」を明示



## 【取組③】社長自ら率先して健康づくりについて発信

少数精鋭で仕事をしており、身体が資本であるため、社長自らが毎日社員の顔をみて、その日の健康状態を把握するように心がけています。また、健康に関する講演会にも積極的に参加し、職員へ発信しています。また、建築資材類を扱っているため、『腰を痛めたりしないよう、準備運動をしてから仕事にかかろう』と40年間朝礼前のラジオ体操を実施しています。



会社の発展は社員の健康管理から

## 取組の成果

- ①朝礼前のラジオ体操の実施で、ギックリ腰がない。
- ②タバコの禁止で肺がんはおらず、社屋内の空気がきれい。
- ③深酒の禁止で、飲酒運転がない。
- ④健康診断の結果、早期治療で長期病欠がでていない。



従業員50人未満の事業所の取組

# 社会福祉法人霊山会 植田保育園

大分市

平成28年度受賞

|        |   |
|--------|---|
| 設立     | 昭和42年10月  |
| 業種     | 保育所   |
| 従業員数   | 29人（男性：3人、女性：26人）   |
| 所在地    | 〒870-1151<br>大分市大字市字洲高田445-2                                    |
| ホームページ | <a href="http://wasadahoikuen.jp/">http://wasadahoikuen.jp/</a> |



## 【事業内容】

社会福祉法人霊山会 植田保育園は、昭和42年大分市に設立し、児童福祉法に基づき、園目標「思いやりのある明るい元気なこども」を掲げ、保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設です。



## 園長 清水 千恵美

子どもたちは、周囲の環境などに影響を受けやすいことを痛感しているため、「職員が心身共に健康でいられることが、いい保育につながる！」と

いう考えのもと、まずは職員が楽しく健康に仕事ができるよう、環境整備に努めています。



### 【取組①】 県の事業をきっかけに歩くことの継続、更なる健康への取組へ！

県が実施した歩行計を使った事業を、今年度は事業所の負担で継続して実施しています。この取組で、近距離移動では車使用が減り、歩行速度も意識するようになりました。また、歩くことの楽しさを知ることができ、職員だけでなく、その家族や周囲の人も、巻き込んで、健康になっていければと考えています。



月2回タッチで歩数の見える化



### 【取組②】 体を動かす研修への取組！

県内外で行われる運動方法の研修などにも、積極的に参加させ、その内容を他の職員や子どもたちに伝え、還元しています。その為、保育士達のレポーターが増え、様々な体の動かし方をする事で、いろいろな筋肉の発達に繋がるようにしています。



県外研修の様子



### 【取組③】 事業所ぐるみの取組！

事業所内では、健康診断等でしっかりと自分の健康管理を行い、何事にも早期での対処ができるよう意識してもらっています。また、自分に合った体力づくりを目標に、事業所外のイベントにも無理のないよう職員同士で声かけあい、参加しています。



べつだいウォーク参加の様子

## 取組の成果

- ① 歩くというところから、健康への意識改革が行えた。
- ② 意識改革が行えたことで、楽しく取り組んでいる。
- ③ 楽しく取り組んでいることで、更なる一体感が生まれた。

従業員50人未満の事業所の取組

# タナベ環境工学株式会社

大分市

平成27年度受賞



|        |   |
|--------|---|
| 設立     | 昭和47年6月   |
| 業種     | 環境調査・地質調査・建設コンサルタント   |
| 従業員数   | 41人（男性：35人、女性：6人）   |
| 所在地    | 〒870-1117<br>大分市高江西一丁目4323番地の4  |
| ホームページ | <a href="http://www.tnb-kankyo.co.jp/">http://www.tnb-kankyo.co.jp/</a> |

## 【事業内容】

タナベ環境工学株式会社は、本社は大分市内、支社が福岡市にあります。現在、約41名の社員で、九州一円を活動範囲として、環境調査、地質調査などの事業を展開しています。



## 代表取締役社長 藤澤 剛

健康に対する人々の関心は年を追うごとに高まっています。そのような環境の中で平均寿命、健康寿命もさらに延伸していくと思います。一方で、定年または働き続ける年齢も、さらに延長されていくことが社会の要請となると考えて

います。そのような環境の中で、社員自身が十分に健康でいろいろな選択肢を持てることが、本人にとっても、会社にとっても非常に重要なことだと思います。



### 【取組①】社員がいつまでも元気でいてほしい。社長・担当者の健康づくりへの細やかな「配慮」!

健康診断は、総務担当者が社員全員に受診希望日を確認し、一括して申込を行っています。この方法で受診率100%を継続しています。健康診断結果で、要精密や要治療となった社員にはメールで受診を促し受診状況も確認しています。さらに『持病に関する申告書』を全員に記入してもらい、通院や投薬状況を確認し、病気の重症化防止に力を入れています。緊急時の家族の連絡先も把握し早期対応ができるようにしています。定年まで元気に働いてもらいたいという後にも良い生活習慣を続けてほしいと思っています。



生涯健康を目指し取り組みます



### 【取組②】社員が自然と健康づくりに取り組める職場環境づくり!

社員の昼食は、摂取カロリーを把握できる弁当を総務担当者が注文したり、会社に設置している自動販売機の飲料水の種類を、特定保健用食品やカロリー控えめの飲料を多めに取り入れています。また、血圧計・体重計を事務所内に設置し、いつでも測定できる環境を整えています。昨年からは、社内で健康スローガンを募集し、優秀作品を表彰し朝礼時に社員皆で唱和し、健康の意識づけをしています。



健康スローガンの掲示



### 【取組③】昼休みにちょっと歩けるウォーキングコースを作成

会社周辺の自然豊かな環境を活かして、担当者が実際に歩いてみて、お昼休みなどに歩けるウォーキングマップを作成しています。コースには、時間や距離を記載し、15分～20分で歩けるいくつかのコースを紹介しています。また、社内には主に体幹を鍛える運動具を設置し、昼休みに運動できる雰囲気づくりをしています。職場のコミュニケーションの活性化にもつながっています。



ウォーキングの様子



ウォーキングコース

## 取組の成果

- ①健康診断結果を隔々まで見るようになった
- ②会社で運動する機会ができた
- ③職場のコミュニケーション活性化になった
- ④社員の健康意識が高まった



# 明大工業株式会社

別府市

平成28年度受賞

|        |   |
|--------|---|
| 設立     | 昭和38年2月   |
| 業種     | 建設業   |
| 従業員数   | 41人（男性：37人、女性：4人）   |
| 所在地    | 〒874-0922<br>別府市船小路町3番43号   |
| ホームページ | <a href="http://www.meidai-k.co.jp">http://www.meidai-k.co.jp</a> |



## 【事業内容】

別府市に設立。地質調査を主とするコンサルタント業務、および地すべり対策工事や橋梁の耐震補強・長寿命化等の工事を九州一円で事業展開しています。



## 代表取締役社長 藤澤 正浩

当社が目指すのは、社業を通じて地域に貢献し、顧客から信頼され、安心して取引のできる企業であり、また会社にとっての人的財産である社員が安心して働ける魅力ある会社づくりです。そのためにも“一人ひとりの社員が会社の財産そ

のものである”という理念の下に、今後も会社が健康維持と増進をサポートしていくと共に、社員が自発的な健康活動に取り組む環境づくりを目指してまいります。



### 【取組①】 きめ細かく丁寧に社員の健康状態を把握

健診受診率は100%であり、健診結果について医師から意見聴取を行っています。有所見者に対しては面談を行い、精密検査が必要な者への受診勧奨や、その後の経過を聞き取りしています。健診後の個人の健康管理の為、クピオで健診データを確認することを推奨しています。また、健康スローガン『よい仕事 まずは健康管理から』を、社内に掲示しています。



健康スローガン



### 【取組②】 ラジオ体操から一日がはじまります

2016年9月より、本社でもラジオ体操と朝礼をはじめました。各部の社員と顔を合わせ、ラジオ体操後の朝礼では、社員の誕生日発表・季節や天候・安全衛生の話でコミュニケーションをとっています。また、毎月の社内安全衛生委員会やメール配信で、健康情報を共有しています。



朝の様子



### 【取組③】 健康づくり

県が実施する「歩いて健康No.1決定戦」や、県内のウォーキング協会等が開催する各種健康イベントに参加しています。お昼休みにウォーキングをしたり、健康づくりに興味がなかった社員がウォーキングイベントに参加したりと、社員の生活習慣意識が少しずつですが変わってきています。



ウォーキングイベント参加

## 取組の成果

- ①ウォーキングイベントに参加する社員が徐々に増加した。
- ②出勤前や昼休みにウォーキングすることが習慣化してきた社員がでてきた。
- ③普段の会話で、健康増進の話が多くでるようになった。

従業員50人以上の事業所の取組

# 九州ジージーシー株式会社

竹田市

平成27年度受賞

|        |   |
|--------|---|
| 設立     | 平成2年3月  |
| 業種     | 食品製造業   |
| 従業員数   | 60人（男性：34人、女性：26人）  |
| 所在地    | 〒878-0034<br>竹田市大字門田241番地                                       |
| ホームページ | <a href="http://www.ggc.co.jp/sp/">http://www.ggc.co.jp/sp/</a> |



## 【事業内容】

当社は、竹田市の良質な湧水を使用し、無添加・無農薬・無漂白のもやしを製造しています。主力商品の「名水美人」を始めとして、太くて瑞々しくシャキシャキ感のある歯触りや根が少なく青臭さがないもやしが特長です。小大豆を使った「小大豆もやし」、黒豆を原料とした「細もやし」等様々な商品の製造や、昨今では、多様化するニーズに応えるべくカット野菜（Mixもやし）の製造にも力を入れ、販路拡大を図っています。



## 九州ジージーシー竹田工場 工場長 進 育夫

健康づくりに力を入れるきっかけになったのは、インフルエンザの流行でした。人手不足で危うくシフトが回らなくなるほどでした。以来、従業員全員のインフルエンザの予防接種や健康診断の全員受診、産業医に相談しやすい環境づくり、講師を招いての禁煙講習会、ソフトボー

ル大会への参加など、さまざまな健康づくりを行っています。取組により、業務中の怪我の発生が減るなど、従業員の意識や安全衛生の向上、職場環境の改善につながっています。従業員が健康でなければ会社は成り立ちません。大分県一の健康づくりの会社を目指したいです。



### 【取組①】社員の健康が会社の財産です。

健康診断は年齢にかかわらず全員血液検査（血中脂質、肝機能等）を実施しています。社員個々の都合にあわせ健診日を設定し勤務表に健診日を明示、健診受診率は、100%です。また女性は2年に1度乳がん・子宮がん検診（費用会社負担）もしています。「要精密検査」の社員は産業医の面接で指導・相談を受けています。弊社は夜勤作業があるため、特定業務従事者の健康診断も、法定通り年2回受診しています。「社員が健康でなければ、会社は成り立たない」が経営理念のひとつです。



もやしも社員も元気に！



### 【取組②】禁煙セミナーなど、保健所や市役所の協力を得て、健康講話による健康教育を実施しています。

社員が健康に対して、「どうやって興味をもってもらうか」を考え、毎月開催する「安全衛生会議」等を活用し、季節に応じた研修会を実施したり、保健師さん方に相談し、タイムリーな課題に取り組むようにしています。社員から質問があった時は、講話を実施してよかったと感じます。夏季は熱中症対策として、各所にミネラルウォーターを設置、注意喚起のポスターを掲示しています。また年間を通して「手洗い」の完全実施をしています。



禁煙対策講話の様子



### 【取組③】1日の始まりは体操から！

毎日の朝礼時に全員で体操を行っています。体操を行い体を動かすことにより、重大事故、ケガ防止にも役立っています。チェックシートによる体調不良者の把握だけではなく、朝礼時に体調不良者の有無を声かけによって把握しています。経営者は従業員の健康管理に重点を置いており、インフルエンザの予防接種、腸内検査（年3回）も会社負担で全員実施しています。



ラジオ体操

取組の  
成果

- ①社員の健康に対する意識が強くなった。
- ②新聞等の取材を受ける機会が増え、会社のPRにつながった。
- ③重大事故、ケガの抑制につながった。



# 旭タカロン株式会社

宇佐市

平成28年度受賞



|      |                          |
|------|--------------------------|
| 設立   | 平成2年2月                   |
| 業種   | 製造業                      |
| 従業員数 | 65人（男性：42人、女性：23人）       |
| 所在地  | 〒879-0314<br>宇佐市猿渡1049-1 |

## 【事業内容】

自動車内装部品（自動車用吸遮音材）の製造及びトリム加工、貼り合せ加工を行っています。地域社会の経済発展と環境保全に貢献できる企業を目指しています。



## 代表取締役 市橋 東洋

企業は人なりと言いますが、どんな企業経営でも適切な人を得てはじめて発展して行くものです。従業員がその持てる能力を存分に発揮して、会社ひいては社会に貢献するためには、先ず健康であることが前提条件であります。従業員の高齢化に伴う健康

リスクが増大する中で、健康経営への取組は、会社にとって“コスト”ではなく、収益を生み出す“投資”であるという視点に立って、今後もさらに従業員（非正規雇用も含む）、健康管理責任者及び産業医と連携して、健康経営を促進して行きます。



### 【取組①】 健全な心は健康な身体からをモットーに従業員の健康づくりに努めています。

健康診断は、年齢にかかわらず全員血液検査をしています。健診受診率は、100%です。前日には、最終食事時間・水分補給（水・湯）の徹底で、不要な要精密が減少しました。また、女性には2年に1度乳がん・子宮がん検診（会社費用負担）もしています。「要精密」の従業員は、全員が産業医の面接で指導・相談を受けています。常に健康管理に意識を持ってほしいという思いで、食堂の一角に血圧計の設置と健康情報の提供をしています。今後の生活習慣病の早期気づき・治療につながればと思います。



ゴルフコンペを2ヶ月に1回開催しています。



### 【取組②】 熱中症対策に力を入れています！

熱中症対策として、5～11月の間、食堂にミネラルウォータークーラーの設置と注意喚起のポスターを掲示しています。また天気予報で「熱中症注意警報」が出た時には、スポーツドリンクを朝から配布し熱中症に警戒しています。朝礼の際には、こまめな水分補給と朝食をきちんと食べることを徹底して伝えています。その結果、熱中症の症状を訴える者は減少、重症者はいなくなりました。



食堂にミネラルウォータークーラーを設置



### 【取組③】 健康第一！ 1日のスタートはラジオ体操から

朝はラジオ体操で体をほぐし1日がスタートします。毎日各職場ごとに行っていますが、月に1回は朝礼で全員集まって体操をしています。社長は健康意識が高いため、朝礼の時に健康に関する話をすることも多く、日頃から従業員の健康に気遣い声を掛けてくれています。



毎朝のラジオ体操の様子

## 取組の成果

- ① 従業員の健康維持・増進による労働力の確保
- ② 欠勤者の減少と職場環境改善による生産性の向上
- ③ 従業員満足度とモチベーションの向上による組織の活性化
- ④ 設備等の改善による安全性の向上
- ⑤ 医療費の適正化と企業イメージの向上



従業員50人以上の事業所の取組

# 社会福祉法人大喜福祉会 喜楽苑

日田市

平成28年度受賞

|        |   |
|--------|---|
| 設立     | 平成9年2月  |
| 業種     | 社会福祉施設  |
| 従業員数   | 119人（男性：33人、女性：86人）   |
| 所在地    | 〒879-4201<br>日田市天瀬町桜竹1115-87  |
| ホームページ | <a href="http://care-net.biz/44/kirakuen/">http://care-net.biz/44/kirakuen/</a> |



## 【事業内容】

特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルパー、小規模多機能型居宅介護事業所、居宅介護事業所、地域包括支援センターの介護サービスを提供している。



## 理事長 大庭 富紀

利用者さんを元気にし笑顔になってもらうためには、職員が健康で、笑顔でイキイキと働けることが大事です。喜楽苑では、安全衛生委員会の活動を中心に、レクリエーション委員会等も活発にイベント・行事計画を行い、職員の健康づくりから職場の良好なコミュニ

ケーション形成等各分野に取り組んでいます。その成果は、数値等ですぐにみえるものではありませんが、職員の「楽しかった」「これからも続けてほしい。」等の声や、自主的な運動への取組、腰痛による長期欠勤者・退職者ゼロ等にあらわれていると思います。

### 👏 【取組①】 みんなで歩こう！「あるいてみらんかい（会）？」



仲間と一緒に無理なく運動が取り入れられるよう、春先から梅雨入りまで17：30～18：00の間に各自出発。自分の都合で気軽に参加できる・個々人の身体能力や持ち時間に合わせられるよう施設周辺で3つのコースを設定し、歩くことを推進。参加の方法・コースの紹介・歩き方がわかり、自己管理できるような記録用紙を全職員に配付し、活用してもらっています。



仲間と歩いて楽しく健康づくり！

### 👏 【取組②】 歩く機会を増やすための環境整備 「施設内外の距離マップの作成！」



歩数を記録しはじめると、「あの廊下は100mあるよね。あそこを1日何往復するかな？」「D駐車場って遠いよね。そこに停めたら何歩増えるだろう？」等の声が聞かれるようになり、安全衛生委員会で施設内外の距離を測り「マップ」を作成。マップには歩数の測り方を載せ、地域の運動イベントの紹介等も併せて行いました。マップができてからは、遠い駐車場から埋まるようになり、近くより先に満車に。また、事業所として万歩計を購入し貸し出しも行っています。最近では、自分で購入する職員も増えています。



玄関から  
A駐車場まで55.5m  
D駐車場まで117.0m

駐車場は遠くのDから埋まるように！

### 👏 【取組③】 安全衛生委員会の活性化



平成24年度腰痛での長期欠勤者・退職者が出たことにより、職員の健康管理について見直しがされました。この対策として施設内では、介護用ベッドを高さ調整できる型に変更し、腰の負担が軽減できるようにしました。また、施設内研修で腰痛予防教室に取り組み、自己管理ができるように努めました。この様な状況をふまえ、平成25年度に衛生委員会が発足、平成26年度より安全衛生管理委員会として職員の要望を重視した活動を行っています。その後、腰痛での長期欠勤者・退職者は出ていません。



腰痛予防教室の様子

## 取組の 成果

- ①「歩く」ことを通して、職員同士が声を掛け合い、部署が違う職員間でもコミュニケーションの活性化につながった。
- ②マップでの距離がわかり、普段の業務の中でも意識して身体活動（運動）ができるようになった。
- ③健康づくり対策として、「運動」へのきっかけづくりとなり、自主的な運動の取組にもつながった。
- ④運動を中心とした取組を通して、健康に対する意識が高まった。
- ⑤取組への職員の好反応が、さらなる安全衛生委員会の活動を活発にし、よい循環が生まれた。

従業員50人以上の事業所の取組

# 株式会社 ジェイデバイス (杵築地区)

杵築市

平成27年度受賞

|        |   |
|--------|---|
| 設立     | 昭和45年11月  |
| 業種     | 製造業   |
| 従業員数   | 杵築地区:517人 (男性:427人、女性:90人)  |
| 所在地    | 〒873-0002<br>大分県杵築市大字南杵築2820番地の2                                      |
| ホームページ | <a href="http://www.j-devices.co.jp/">http://www.j-devices.co.jp/</a> |



## 【事業内容】

昭和45年に設立し、パソコン・モバイル・自動車関連の半導体製造業として事業を展開しています。本社は横浜で製造拠点は国内12カ所に渡り、社員は全社で約4,800名（内、杵築地区は517名）です。毎月の安全衛生防災委員会や各職場の健康づくり委員会が中心となり、職場の健康・安全対策を推進しています。



## 代表取締役社長 仲谷 善文

健康経営ということで社会に対する責任（健康保険料、人材等）、会社経営における効果などありますが、弊社内においては、社員の健康寿命を延ばすことに重点をおき一人一人が、最終的に幸福を感じられる人生にできるように取り組みを実施

しています。そのために食の重要性の意識変革、自分の健康に意識を持ってもらうことなど、会社内の生活だけでなく社員の家族の健康も含めて認識してもらえるように、経営者責任として推進していきたいと考えています。



### 【取組①】健康づくり委員が中心になって、事業所ぐるみの取組を企画しています！

各職場の社員より「健康づくり委員」を選出し、「健康づくり委員会」を設置しています。健康づくり委員会では、個人・チーム対抗のウォーキングイベントや健康づくりのためのレクリエーション活動（カローリング大会）等を企画し、定期的に開催しています。

また、健康情報が社員全員に行き届くよう、掲示板や電子メールを活用して、健康づくり委員が周知を行っています。



カローリング大会



### 【取組②】社員食堂を通じて“食の意識改革”！

平成27年度から、減塩をテーマに「健康な食事を社員食堂から考える」として、社員食堂の減塩に取り組んでいます。社員食堂アンケートをもとにメニュー会議を開催し、ヘルシー弁当の提供、スプレー醤油の導入等を行いました。スプレー醤油の導入で、社員食堂の醤油消費量はスプレー醤油導入前と比べて80%減となり、普段の食事の味付けに気を遣うなど、社員の食に対する意識が変わりました。



ヘルシー弁当



### 【取組③】喫煙率減少！建物内の禁煙化を実施

「受動喫煙対策」「社員の喫煙率の低下」を目標に取組を行っています。産業医の健康講話や、保健所とタイアップした喫煙者への健康教育を行うとともに、これまで建物内に設けていた喫煙室を廃止し、建物内禁煙を実現しました。（喫煙場所は屋外に一箇所のみ）

また、健康づくり委員が「すまいるらいふ（社内新聞）」を通じて地道に禁煙に向けた広報活動を行っています。こうした取組を開始して、社員の喫煙率が40%を切るなど、少しずつ成果が現れています。



喫煙者への健康教育

## 取組の成果

- ①社員の健康意識が向上し、健診結果を気にする社員が増加した。
- ②健康診断時の高血圧有所見者率が減少した。
- ③社員の喫煙率は、活動開始より5%減少した。



従業員50人以上の事業所の取組

# 株式会社豊和銀行

大分市

平成28年度受賞



|        |   |
|--------|---|
| 設立     | 昭和24年12月  |
| 業種     | 銀行業   |
| 従業員数   | 643人（男性：335人、女性：308人）   |
| 所在地    | 〒870-8686<br>大分市王子中町4番10号   |
| ホームページ | <a href="http://www.howabank.co.jp/">http://www.howabank.co.jp/</a> |

## 【事業内容】

株式会社豊和銀行は、大分市王子中町に本店を置き、大分県を主たる営業基盤としている地方銀行です。「いちばんに、あなたのこと。」をキャッチフレーズに掲げ、「地元大分になくはない地域銀行」を目指し、今後も、地元経済の活性化と地方創生に貢献してまいります。



## 取締役頭取 権藤 淳

私どもは、「地域に貢献し、地域で真に必要なとされる銀行」の実現に向けて、役職員一丸となって取組んでおりますが、その実現のためには、そのような使命感を持った人財を如何に多く育て、かつそのような人財が各職場において、如何に“活

き活き”と働くことができるかが重要であると考えております。そのために、職場環境の改善に加え、役職員の健康管理の増進に向けた様々な取組を行っており、今後更に強化させていくことが重要な経営課題と認識しております。



## 【取組①】 毎月衛生委員会ニュースで健康管理について発信！

大分県からの“健康経営サポートニュース”等を活用し、衛生委員会ニュースにて、毎月、従業員へ健康管理についての呼びかけを実施しています。また、検診後の二次検診未受診者ゼロを目標に掲げ、各支店の支店長が受診勧奨するなど積極的に取り組み、ここ数年は概ね二次検診100%受診を達成しています。加えて、健診結果に基づく医師からの意見聴取分を、各支店長と情報共有し、日々の健康管理に努めています。



時節にあった健康に関するニュースを毎月発信！



## 【取組②】 ウォーキングイベント等への参加促進！

ウォーキングイベントへの参加促進やスポーツ活動への参加・応援について、積極的に発信を行っています。1日の大半を過ごす職場の仲間とイベントに参加して、気軽に健康づくりに取組んでもらうため、団体での参加については、共済会から補助金を支給し、参加を促進しています。



ウォーキングイベント参加の様子



## 【取組③】 全ての店舗で建物内禁煙！

本店、支店を含め、全ての店舗で建物内禁煙を実施しています。来客者用に、敷地内に灰皿は置いていますが、午後3時の閉店後は、来客用の灰皿も片付けています。現在、経営トップ層には喫煙者はおらず、今後は、全従業員の喫煙状況を正確に把握し、計画的に喫煙者を減らす方策を検討・実施していきます。



営業時間内のみ、灰皿は店舗外に設置

## 取組の成果

- ① 毎月のニュース発信により、健康管理に関する各自の意識が高まった。
- ② 健康づくりイベントに参加し、行員同士の交流を深めることができた。
- ③ 建物内禁煙の徹底により、労働環境がクリーンになった。
- ④ 企業のPRとイメージアップに繋がった。



優秀健康経営事業所 — 平成27・28年度知事顕彰の取組紹介 —

発行日 平成29年3月

発行責任者 大分県 福祉保健部 健康づくり支援課

電話 097-506-2666